

福生市都市計画マスタープラン(第2期)(案)に関する意見

実施期間 令和4年1月4日(火)～令和4年1月18日(火)

提出人数 1名 3件

提出方法 持参 1名

	市民意見の概要	意見に対する市の考え方
1	横田基地を撤去してその後の未来計画を作成する必要があるのではないか。その際、温室効果ガスの排出実質ゼロに向けて有効な企業を誘致し、雇用も環境にやさしい福生市の取組が必要ではないか。	福生市都市計画マスタープラン(第2期)(以下「本計画」という。)は、上位計画に即して策定するものとされており。上位計画である「福生市総合計画(第5期)」では、横田基地については無いことが望ましいものの、その存在を前提としており、同じく上位計画である「多摩部19都市計画都市計画区域の整備・開発及び保全の方針」においても、横田基地は存在する前提でございます。従いまして、本計画においても、横田基地の存在を前提として作成しており、横田基地の撤去・跡地利用ということに記載することはできません。
2	公共施設に太陽光発電設備を設置、企業や集合住宅などに自家発電設備を設置、戸建て住宅への大幅な補助金交付等により、太陽光発電等の普及に努める。また、多摩川の水流を生かした小型水力発電などの研究が必要ではないか。	いただきました御意見と同様の趣旨を、本編101頁の4-6環境と調和したまちの実現方針、(2)個別の整備方針、「地球環境に配慮した低炭素型のまちの形成」の中に、「雨水利用、太陽光発電などの再生可能なエネルギーの導入など、環境への配慮の普及啓発を進める」として記載しています。
3	福生市は東西に坂が多い地形であり、お年寄り、障がい者にとって不便である。市内循環バスの早期の実現が待たれている。	福生市では福祉バスの運行により高齢者や障害者など交通弱者の移動の利便性確保に努めています。 いただきました御意見と同様の趣旨を、本編84頁の4-3道路・交通体系の形成方針、(2)個別の整備方針、オ公共交通の維持・充実(本編88頁)の中に、「高齢者や障害者などの交通弱者へ十分配慮した移動支援に資する公共交通環境の充実に取り組む」として記載しています。